

The 49th Business Report

第49期　報告書　2025年1月1日～2025年12月31日

ビーピー・カストロール株式会社

株主の皆様へ・営業概況

To Our Shareholders & Review of Operations



代表取締役社長　平川雅規

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、ビーピー・カストロール株式会社「第49期 報告書」をお届けいたします。

「中期経営計画」目標達成のための事業戦略

1.コアビジネスの強化　2.ポートフォリオの最適化
3.新規ビジネス開発　4.脱炭素化とデジタル化　5.成長基盤の強化

*中期経営計画の詳細は当社WEBサイトをご参照ください

当期の概況

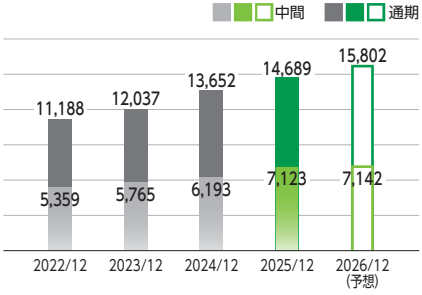
当事業年度のわが国経済は、物価上昇の影響を受けながらも、政府の経済政策や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国際情勢の不安定化や資源価格の高止まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。

自動車業界においては、燃費性能に優れたハイブリッド車や軽自動車を中心に堅調な需要が見られましたが、円安や原材料価格の高止まりなどにより、事業環境は引き続き厳

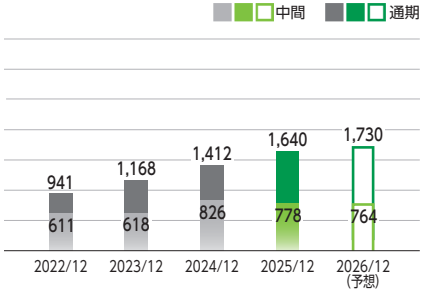
財務ハイライト

Financial Highlights

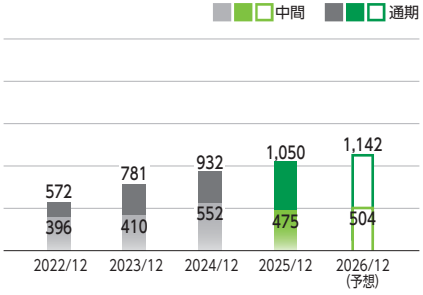
売上高　単位：百万円



経常利益　単位：百万円



当期(中間)純利益　単位：百万円



しい状況にあります。

このような環境下、当社の自動車用潤滑油事業では、販売チャネルの特性に応じたブランド強化と販売施策を推進しました。コンシューマーチャネルではフラッグシップブランドの刷新によりプレミアム訴求を強化し、ディーラーチャネルでは環境配慮型製品の提案や専用商材の展開を通じ顧客基盤の拡大に取り組みました。また、eコマース分野ではデジタル施策の強化により利便性向上と販売拡大を図りました。

さらに、モータースポーツを活用したブランド施策やデジタル・メディア施策を通じ、ブランド認知と高付加価値製品の訴求を強化しました。これらの取り組みにより、購入者層の拡大と販売数量の増加を実現し、当期の売上高および利益は堅調に推移しました。

次期の見通し

成熟市場における競争環境の激化や物価高騰により価格感度が高まる中、当社はブランド愛好者の獲得・定着、高付加価値ブランドの拡大を図るとともに、環境・社会課題への対応を成長機会と捉え、事業の持続的成長を目指してまいります。

当社は、コアビジネスの強化を軸とした5つの経営・事業戦略を重点領域として定め、各施策の推進に取り組んでいます。2026年度は現中期経営計画の最終年度となり、これらの戦略に基づく施策を着実に遂行することで、資本効率の持続的な改善と収益基盤の強化に加え、脱炭素化や電動化への対応を着実に進めることで、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

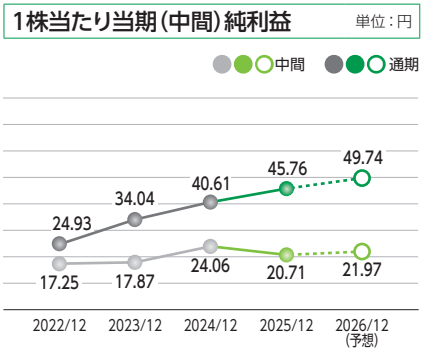
具体的には、カーショップおよびカーディーラーチャネルにおけるプレミアム製品の拡販やeコマースの拡大を通じて、コアビジネスの競争力を高めるとともに、車検・整備工場やタイヤ専門店など新たなチャネルの開拓を進めてまいります。あわせて、デジタルチャネルを活用した新たな顧客体験の創出を推進するとともに、プライベートブランド商品の拡充や近隣製品カテゴリー・新サービスの開発、他業種との連携を通じて、事業ポートフォリオの最適化と新たな成長機会の創出に取り組みます。

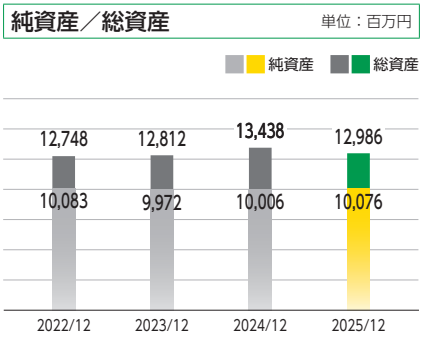
さらに、電動化対応製品や低粘度・ハイブリッド車向け製品などの低環境負荷型製品の展開を進め、持続可能なモビリティ社会への貢献を強化してまいります。あわせて、製品パッケージの削減や配送効率の向上、再生可能資源の活用などの具体施策を通じ、環境負荷の低減と省資源化を推進し、持続可能な事業運営と長期的な価値創造の両立を図ります。また、業務プロセスのデジタル化を推進するとともに、サプライチェーンの強化や人材育成にも注力し、持続的成長を支える経営基盤の強化を進めてまいります。

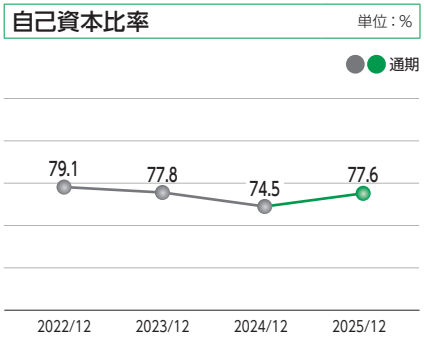
これらの取り組みを、2027年を初年度とする次期中期経営計画におけるさらなる成長投資へと確実につなげるべく、変化に挑戦する企業文化を醸成し、安全かつ効率的な業務運営(オペレーショナル・エクセレンス)を継続的に追求することにより、サステナブルな成長の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月
ビーピー・カストロール株式会社
代表取締役社長　　平川　雅規







ブランド資産を活かした認知拡大への取り組み

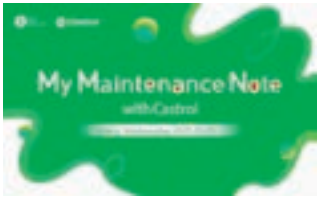




カストロールは2024年の「Rally Japan」を契機に、視認性に優れ、長年にわたりモータースポーツとともに歩んできた“カストロールカラー”を活用したブランド発信を強化してまいりました。同カラーをまとった車両は、ラリーファンや若年層を含む幅広いユーザーから大きな支持を獲得し、SNSやメディアでも多数取り上げられるなど高い反響を得ています。2025年には、全日本ラリー選手権および全日本ダートトライアル選手権に参戦するチームに対し、カストロールカラーを採用した車両の支援を開始いたしました。加えて、自動車販売店・代理店が所有する試乗車にも同カラーを施し、各種イベントでの展示を通じてモータースポーツファンのみならず潜在的ユーザーへの認知向上とブランド親和性の向上を図っております。

“視覚的インパクト”だけでなく、ブランドの歴史・技術に対する共感を生み出すことで、お客様とのエンゲージメント強化にもつながっています。今後もカストロールを象徴するブランドカラーを起点に、多様な接点創出を通じてファンとの関係構築をさらに推進してまいります。

ラジオ番組を通じたメンテナンス意識の啓発



運転中にラジオを利用するユーザーが多いという特性に着目し、FMラジオ番組内にて「マイメンテナンス ノート with カストロール」を提供し、著名人の言葉を通じてメンテナンスの重要性を伝える取り組みを展開しています。あわせてラジオCMも活用し、エンジンオイルへの関心が比較的低い層に対しても、日常的なメンテナンスの大切さを分かりやすく訴求しています。“愛着の数だけ未来は潤う”というメッセージのもと、愛車との関係性を深めるきっかけを提供し、エンジンオイルへの意識向上、さらには市場の活性化と当社事業の持続的成長を目指してまいります。

プロモーション施策：カストロール エッジの価値訴求

春の需要期に合わせカーショップチャネルにて、当社最上位ブランド「カストロール エッジ」に焦点を当てた店頭プロモーションを実施いたしました。

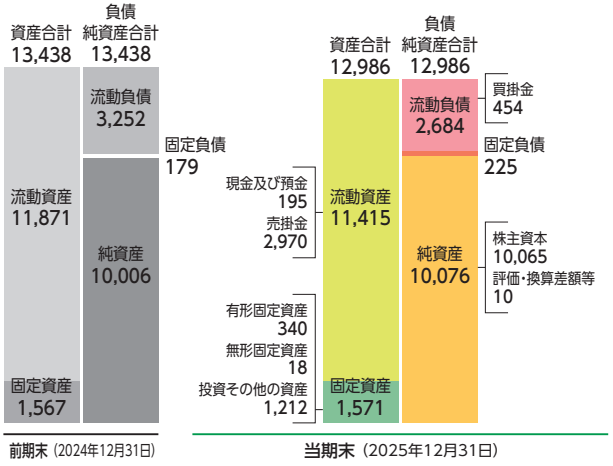
本施策では、F1日本グランプリのペアチケットをはじめとした人気アイテムをプレゼント景品として採用し、対象商品をご購入いただいたお客様に抽選で進呈する仕組みによって、新規ユーザーの獲得およびリピート購入の促進を図りました。

さらに、エンジン内部の洗浄に効果的な「エンジンシャンプー」も対象に加え、“プラス一品”の提案を推進することで客単価向上にも寄与しました。

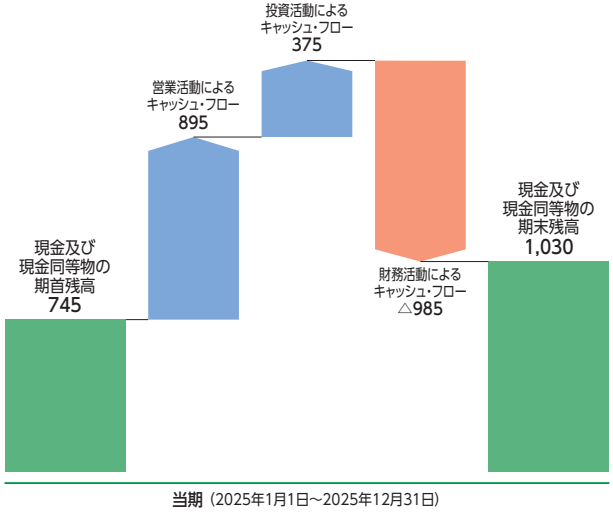
市場全体が縮小傾向にある中においても、カストロールはエンジンオイル市場でのプレミアムポジションを維持すべく、「カストロール エッジ」の価値訴求を今後も積極的に展開してまいります。

● 単位：百万円、百万円未満切り捨て

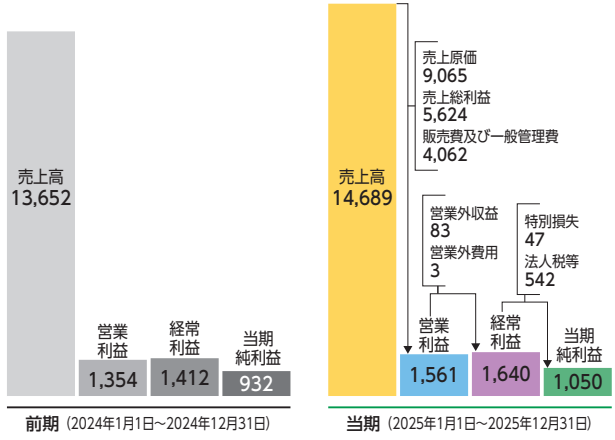
貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



損益計算書の概要



●売上高

売上高は、コンシューマーチャネルにおける高付加価値製品の訴求強化やeコマース分野での販売拡大に加え、ディーラーチャネルにおいて環境配慮型製品の継続提案および新規顧客獲得に向けた施策を実施しました。また、MotoGPやラリー活動を通じたブランドコミュニケーションの強化により、カストロールブランドの認知向上と高付加価値ブランドの拡大、新たな需要創出を推進しました。これらの取り組みにより、売上高は14,689百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

●純資産

純資産の残高は、10,076百万円（前事業年度末は10,006百万円）となり、69百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が当期純利益により1,050百万円増加し、剰余金の配当により987百万円減少したことによるものです。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、895百万円（前年同期比378百万円の増加）となりました。これは、主に税引前当期純利益1,593百万円、減価償却費の計上131百万円、売上債権の減少167百万円及び棚卸資産の減少126百万円により資金が増加した一方、仕入債務の減少615百万円及び法人税等の支払額448百万円により資金が減少したことによるものです。

会社情報・株式情報

Corporate Data & Stock Information

● 2025年12月31日現在

会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社 英文名:BP Castrol K.K.
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2　ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.c.が持つCastrolブランド及びbpブランドの自動車用潤滑油を日本市場に合わせて製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	79名(18名) (注)臨時従業員数は、(　)内に年間の平均人数を外数で記載しております。
子会社	カストロール株式会社 ビーピー・ルブリカンツ株式会社

役　員

代表取締役社長	平川　雅規 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役副社長	阿部　宏憲
取締役	田中　正子
取締役(社外、監査等委員)	栗井　佐知子
取締役(社外、監査等委員)	望月　文夫
取締役(社外、監査等委員)	福山　靖子

株式の概況

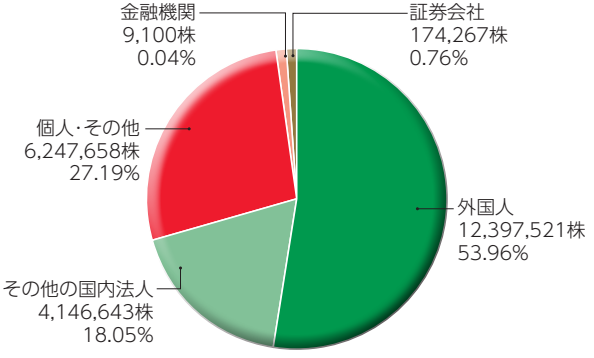
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	10,760名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.29
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.59
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.99
三島　泰	112,000	0.49
小津　恒子	110,000	0.48
株式会社SBI証券	65,832	0.29
中外油化学工業株式会社	61,000	0.27
高嶋　博	60,000	0.26
株式会社JSCreation	55,000	0.24
長妻　和男	50,000	0.22

(注)出資比率は、自己株式17,474株を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会　12月31日 期末配当金　12月31日 中間配当金　6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063） 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間　9：00～17：00（土日休日を除く） https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い

●株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
●お届出が済んでいない株主さまは、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

お届出が済んでいない株主さまは、お早めにお手続ください。

マイナンバーの取扱いについて

●マイナンバーの取扱いは厳格な安全管理措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。
●法令で定められた目的以外でマイナンバーを使用することや他人にマイナンバーを提供することは禁じられています。

マイナンバー制度について

●マイナンバー（社会保障・税番号制度）ホームページ
https://www.cao.go.jp/bangouseido/
●マイナンバー総合フリーダイヤル（マイナンバー）
0120-95-0178

マイナンバーのお届出およびお問い合わせ先について

＜上場会社の株式等をお持ちの株主さま＞
証券会社等にて株式等を管理・購入・取引されている場合は、証券会社等へお届出をお願いします。
お手続方法など詳細につきましては、お取引のある証券会社等までお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
0120-782-031

ビーピー・カストロール株式会社

本社 IR担当　〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階
TEL:03-5719-6000(代)
URL:http://www.bpcastrol.com

証券コード　5015

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。